おすすめ散歩コース

●歴史散策コース　所要時間 約1時間30分（約4.6km）
（裏面地図に ➔ で表示）

西大島駅→(祭)五百羅漢跡→(月)小林一茶寓居跡→(土)釜屋跡→(日)小名木川クローバー橋→(資)庚申道跡→(名)大島稲荷神社→(水)塩なめ地蔵→(金)中川船番所資料館→東大島駅

歳事記

1月
- 1日　・初詣

2月
- 節分の日　・東大島、大島稲荷神社

3月
- 3月～4月上旬　・緑道公園さくらまつり
亀戸の水神森から大島4丁目にかけての緑道です。ソメイヨシノ110本の桜並木がつづきます。

5月
- 5月5日　・勝矢祭（亀出神社）

9月
- 上旬　・江東区民大島地区大会
区民の誰もが気軽に参加できる大島地区の区民まつりを幅広く開催しています。

小名木川

大島の南側に横たわる小名木川は、徳川家康が江戸に入府したときに開削された運河です。行徳の塩をはじめ、各地の物資を江戸の街に運ぶための重要な水路でした。明治以降は、川の両岸に立ち並ぶ工場のための運河となり、近代国家の殖産興業を支えました。戦後はこの川からあふれる水が、周辺の住民を苦しめることになったのです。良くも悪くも、大島地区の歴史は、小名木川を抜きには語れません。この小名木川を観光資源と捉え、訪れた人たちにこの川にまつわる歴史や文化を伝えようと、地域の人たちが「リバーガイド」の活動を行っています。そのガイドさんたちの案内で小名木川の遊覧が楽しめる「小名木川リバーツアー」の他、NPOによるミニクルーズも運航しています。また最近、番所橋周辺の川沿いは、江戸情緒を楽しみながら散歩できる遊歩道として整備され、さらに延伸される予定です。

リバーツアーや遊歩道で、小名木川の歴史と文化に触れてみてはいかが？

■ 小名木川リバーツアーの問い合わせ
03(3681)6331（東大島文化センター）
■ ミニクルーズの問い合わせ
03(5639) 2818

大島をよりよい町にするための集まりです

大島地域商業活性化委員会は、大島中の橋商店街振興組合、大島らかん通商店街振興組合、大島中央銀座商店会、大島駅通り共和会、西大島通り会、大島四丁目団地ショッピングセンター、大島中の橋南商店会、大島六丁目団地ショッピングセンター、大島七・八丁目改正通り商店会、大島八丁目中央会、東大島メトロード商店会の各商店街で形成されています。

名所・旧跡

❶ 小名木川クローバー橋
おなぎがわくろーばーきょう　4−A

小名木川クローバー橋は猿江、大島、北砂、扇橋の4つの地区を、小名木川と横十間川の合流点で結んでいて、ランドマークの意義が深い橋です。
大島1 ～扇橋3 間

❷ 小林一茶寓居跡
こばやしいっさぐうきょあと　2−B

江戸後期の俳人である小林一茶は、享和3年(1803)から文化元年(1804)までこの地にあった勝智院に住んでいたともいわれています。大島2-15-4 愛宕神社
電話 03(3681)7217

❸ 女木塚碑
おなぎづかひ　4−E

この碑の正面には、大きく「女木塚」と記され、「秋に添て…」の句が刻まれています。この句は、元禄5年(1692)（一説には元禄6年ともいわれています）、芭蕉が49歳の時に小名木川に船を浮かべて、門人宅での句会で吟じたものです。
大島5-39-26 大島稲荷神社 電話 03(3684)4749

❹ 塩なめ地蔵
しおなめじぞう　4−G

宝塔寺にある塩なめ地蔵は、その昔仏前の塩をもらって祈願すると「いぼ」が治るといわれていました。
大島8-38-32　宝塔寺

❺ 亀出神社
かめでじんじゃ　2−D

亀出稲荷神社と愛宕神社、この二つの神社が戦災の被害などの幾度の変遷を経て昭和31年に現在地に合祀されたものが大島亀出神社です。
大島3-31-15

❻ 中川船番所資料館
なかがわふなばんしょしりょうかん　3−H

この資料館では中川番所を中心に江戸時代から現代までを水運というテーマで展示・解説しています。
大島9-1-15
電話 03(3636)9091

❼ 釜屋跡
かまやあと　4−A

寛永17年（1640）、近江国（滋賀県）から太田氏釜屋六右衛門（釜六）と田中氏釜屋七右衛門（釜七）がこの地に工場を構え、明治、大正期まで鋳物業を盛んに行っていました。
大島1-2

❽ 五百羅漢跡
ごひゃくらかんあと　3−C

元禄8年(1695)、開山松雲禅師が等身大の五百羅漢像を安置しました。境内の三匝堂は廊下が螺旋状になっていることからさざえ堂と呼ばれていました。
大島4-5

❾ 化学肥料創業記念碑
かがくひりょうそうぎょうきねんひ　4−A

タカジアスターゼの発明者高嶺譲吉(1854-1922)が渋沢栄一(1840-1931)らの協力で、わが国最初の人造肥料会社をこの地で創立しました。
大島1-2 釜屋堀公園内

❿ 総合区民センター
そうごうくみんせんたー　3−C

区民の文化、教養、福祉の場として設置された総合施設です。公会堂や図書館、区役所出張所の他土曜、休日急病診療所等があります。
大島4-5-1 電話 03(3637)2261

⓫ 大島小松川公園
おおじまこまつがわこうえん　1・2・3−H

防災市街地再開発事業により、設置された公園です。平常時はレクリエーションの場として利用され、災害時には20万人の避難広場となります。
大島9、江戸川区小松川1
電話 03(3636)9365

⓬ 大島緑道公園
おおじまりょくどうこうえん　1・2・3−C

亀戸の水神森から大島4丁目にかけての緑道です。ソメイヨシノ110本の桜並木がつづきます。
亀戸～大島4丁目

⓭ 伊藤左千夫宅跡
いとうさちおたくあと　2−D

伊藤左千夫は正岡子規の門人で「アララギ」誌上などで活躍した歌人です。門下には島木赤彦・斉藤茂吉などがいました。左千夫は晩年ここに住まいを構え牛舎を経営しました。 大島6-1

⓮ 東大島神社
ひがしおおじまじんじゃ　2−F

東京大空襲によって消失した大島地区の5つのお社を合併して設立された神社。境内には、天明7(1787)年に設立された「庚申塔」や「豊栄社石祠」などの文化財があります。
大島7-24-1 電話 03(3681)7058

⓯ 庚申道跡
こうしんみちあと　4−B

突き当たりの地蔵堂に地蔵と庚申塔がまつられ、大島の古い町並みの様子を偲ばせています。
大島1-17～38

⓰ 大島稲荷神社
おおじまいなりじんじゃ　4−E

創立は慶安年間（1648～52）。鳥居の近くに松尾芭蕉の「秋に添うて 行かばや末は 小松川」の句碑があります。これに関連して最近では芭蕉の像も建てられました。
大島5-39-26 電話 03(3684)4749

▼ 東大島駅

［東大島駅］（大島口）

のりば	系統番号	行　き　先
(日)	門21	門前仲町
	草24	浅草寿町
(月)	錦28	錦糸町駅

［東大島駅入口］

のりば	系統番号	行　き　先
(火)	草24	東大島駅
	亀24	葛西橋
(水)	亀24	亀戸駅
(土)	FL01	葛西駅（土曜・休日のみ運行）
(祭)	FL01	錦糸町駅（土曜・休日のみ運行）

［東大島駅］（小松川口）

のりば	系統番号	行　き　先
(木)	平28	平井駅（循環）平井操車所
(金)	AL01	東大島駅循環

ちょっと足をのばせば

A 亀戸天神
亀戸3-6-1　03-3681-0010
学問の神様として信仰を集めています。心字池の周りいっぱいに咲き誇る藤の花は、新東京百景の一つになっています。
▲詳しくは下町ぶらりMAP「亀戸」をご覧ください。

B 香取神社
亀戸3-57-22　03-3684-2813
江戸古跡十二社の一つ、江東区内で最も古い神社です。
▲詳しくは下町ぶらりMAP「亀戸」をご覧ください。

C 旧大石家住宅
南砂5-24地先　仙台堀川公園
旧大石家住宅は、江戸時代に建てられた区内最古の民家建築で、平成6年3月に江東区の有形文化財に指定されふれあいの森に移築復元されました。
▲詳しくは下町ぶらりMAP「砂町」をご覧ください。

D 石田波郷記念館
北砂5-1-7 砂町文化センター2F
03-3640-1751
波郷は江東区の様子を「焦土讃詠」として多くの俳句に詠みました。それらの作品を中心に多くの展示物があります。
▲詳しくは下町ぶらりMAP「砂町」をご覧ください。

E 荒川ロックゲート
大島小松川公園内
荒川と旧中川を結ぶ閘門（ロックゲート）と呼ばれる施設で、水面の高さが違う2つの川のあいだを船が通行出来るように水位を調節し、水面の高さを同じにして船を通します。

※オレンジの四角部分は裏面の地図範囲を示しています。

城東シャトル　臨海副都心から 城東観光名所への直行便！　都バス 急行05系統

臨海副都心と城東地区（亀戸・大島・砂町）の観光名所を結ぶ都バス急行便＝急行05系統（土・日曜・祝日運行）に城東地区の観光名所をラッピングしたバス「城東シャトル」が登場しました。
「写真タイプ」と「絵のタイプ」2種類が運行中ですので、観光地めぐりのアクセス手段にご利用ください。

▲絵のタイプ

最寄駅電車路線案内

▼ 都営新宿線

浜町 ― 森下 ― 菊川 ― 住吉 ― 西大島 ― 大島 ― 東大島 ― 船堀 ― 一之江

最寄駅バスのりば案内

▼ 西大島駅

のりば	系統番号	行　き　先
(日)	都07	門前仲町
	両28	葛西橋（境川経由）
	亀29	なぎさニュータウン
	錦18	新木場駅（平日のみ運行）
	急行05（城東シャトル）	日本科学未来館（土曜・休日のみ運行）
(月)	錦28	錦糸町駅（住吉駅経由）
(火)	亀23	江東高齢者医療センター
	錦28	東大島駅（北砂五団地経由）
(水)	都07	錦糸町駅（亀戸駅通り経由）
	錦18	錦糸町駅（亀戸駅通り経由）（平日のみ運行）
	急行05（城東シャトル）	錦糸町駅（亀戸駅通り経由）（土曜・休日のみ運行）
	両28	亀戸駅、両国駅
	草24	浅草寿町
	亀23	亀戸駅
	亀24	
	亀29	
(木)	草24	東大島駅（大島駅経由）
	亀24	葛西橋（大島駅経由）

▼ 大島駅

のりば	系統番号	行　き　先
(日)	草24	浅草寿町
	亀24	亀戸駅（西大島駅経由）
(月)	草24	東大島駅
	亀24	葛西橋
(火)	亀21	亀戸駅（水神森経由）
(水)	亀21	東陽町駅

大島

河川水運と江東の郷土史の街

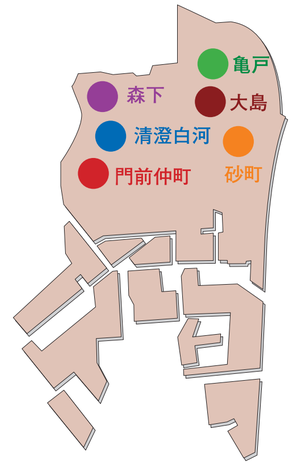
■大島（おおじま）
江戸時代の正保（1644～47）ごろ、海岸の低湿地を開発して村が作られ、約250年前の「元禄図」に初めてその名が出ています。当時比較的大きな島であったので、この地名がつけられたといわれています。

下町ぶらりMAP

江東区

制作…大島地域商業活性化委員会　後援…江東区

江東区MAP



MAP紹介

見どころいっぱいの下町ぶらりMAPは6種類
●森下 ●清澄白河 ●門前仲町 ●亀戸 ●砂町 ●大島
その他
●江東区観光イラストマップ
をご用意しております。ぜひご覧ください。

観光に関するお問合せ

深川観光協会　電話 03(3643)0114
亀戸観光協会　電話 03(3685)0284（月・水・金曜のみ）
江東区役所 経済課 商業観光係　電話 03(3647)3312(直通)

制作

大島地域商業活性化委員会
連絡先 大島中の橋商店街 事務局内 電話 03(3684)2321

19.9（第1版）